

デイホーム通信



各地区のデイホーム
を紹介しています！



(社西地区社会福祉協議会)



「踊りの輪・和・話」

社西公民館で毎週練習をしている日本舞踊『友禅の会』の皆さんは、毎年社西デイホームの各会場で踊りを披露してくださいます。

「矢切の渡し」「二輪草」など親しみやすい演歌に振り付けされた踊りなので、歌詞の情景がそのまま思い浮かぶようでした。

「いいわぁ。」「私も踊れたらなあ。」などため息に似た声も聞こえ、皆さん艶っぽい踊りにうっとりで見入っていました。

最後には利用者の皆さんも加わって「炭鋤節」と「イチチョライ節」を踊りました。

踊りの輪のように、地域の方の活動とデイホームの輪がもっと広がることを願います。

社西地区 専任職員 六佐 和子

(文殊地区社会福祉協議会)



「手作りで和やかな「お花見」

文殊が丘のデイホームいきいきサロンでは、福祉委員の方の働きかけで手作りの「お花見」を楽しんでいます。

4月2日(金)のデイホームの時にはまだ蕾だった桜も、4日(日)のお花見当日には咲き始め、天気も快晴で絶好のお花見日和となり参加者の人達も早め集まりました。

友呼会(熟年男性の会の力を借りて、公園に机や椅子を出したり、お弁当や飲み物を並べたりしました。

また、山菜おこわ田楽、漬物などの手作りのお料理を持参して下さる方もいてテーブルはとっても華やか。

友呼会の人も参加し、盛大で和やかなお花見となりました。

桜やぼんぼりに囲まれ話にも花が咲き、桜の下で気功やパズルも楽しみ多くの人と交流ができました。

ひとり一人が自主的に取り組むことが何より「元気で長生き」の源だと実感しました。

文殊地区 専任職員 福山 奈於美